

9月定例教育委員会 会議録

日	時	令和元年9月11日（水） 午前9時30分～午前10時10分									
場	所	甲府市役所 9階 会議室9-2									
出席委員	小林教育長・市川職務代理者・原委員・末木委員・岡田委員										
出席事務局職員	饗場教育部長・太田教育総室長・佐藤生涯学習室長（生涯学習課長兼任）・星野総務課長・寺田学校教育課長・内藤学事課長・穂山教育施設課長・西海甲府商業高等学校事務長・碓井甲府商科専門学校事務長・田中歴史文化財課長・小林スポーツ課長、本田図書館長・橘田総務課課長補佐・宮川総務課課長補佐・末木総務課係長・保坂総務課主任										
傍聴人	なし										
署名委員											
委員会書記											
・教育委員あいさつ											
・会議録署名委員の指名 原委員											
・8月定例会会議録の承認 原案のとおり承認											
<table style="margin: auto; border: none;"> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px;">小林</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px;">末木</td> <td></td> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px;">市川</td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px;">岡田</td> <td></td> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px;">原</td> </tr> </table>			小林			末木		市川	岡田		原
小林											
末木		市川									
岡田		原									
<p>1 開会</p> <p>小林教育長</p> <p>これより9月定例教育委員会を開会します。</p> <p>(1) 教育委員あいさつ</p> <p>原委員</p> <p>おはようございます。</p> <p>台風15号が過ぎ去り、近隣の県では大きな被害や交通機関が大混乱となりました。また、この猛暑の中で今日もまだ停電や断水の被害に遭われている方々の辛さを思いますと「いつもの生活」が送れていることに感謝しながら、今朝は参りました。</p> <p>この夏、体温を超える高温が続き、秋風が吹く様子もないままに9月に入り、新学期の行事や秋からの事業がスタートします。</p> <p>先月末も残暑の中、甲府市総合市民会館において、甲府市体育協会創立70周年記念の式典が例年の体育大会開催と同時に開催されました。関係者の皆様、お疲れ様でした。</p> <p>開催に先立ち、県内選出の国会議員の方々をはじめ多くのご来賓の方、体育協会関係者の皆様</p>											

の前で式典のアトラクションとして甲府商業高校ソングリーダー部のパフォーマンスが披露されました。ご来賓の祝辞では、世界に評価された生徒の演技に絶賛の言葉を頂きました。夏休み中に、あの暑さと闘いながらどれほど練習してきたのかと私自身も改めて感動し、大変誇らしく思いました。

さて、今日は、お盆明けの日曜日に私が町内の有価物回収の分別をしながらふと思い出した事をお話しさせて頂きたいと思います。私事で大変恐縮ですが、今年は組長の当番の年です。私共の自治会では各家庭をまわり、有価物を回収し、分別をして業者に渡し、その収益金が自治会の貴重な運営費として活用されておりますので、組長の重要な仕事の一つとなっています。

実は、前回の組長当番の年は息子が中学生でした。地元の皆さんとの接点が少ない息子だったので、親子で話し合い、自治会の方にご迷惑をかけない範囲で、できるだけ組長の仕事を一緒に体験させることにしました。

息子はご年配の方が多い自治会の皆様と一緒に、有価物回収では軽トラの荷台に乗り、重い新聞や本の束を担ぎ入れ、缶をバシバシとつぶし、お祭りの時には神輿の担ぎ手となり、また地区の運動会においては、早朝からテント張り・やきそば作りの鉄板やガスボンベを運び、組長の役目を果たしておりました。

ご迷惑をおかけしたこともあろうかと思いますが、自治会の方が高齢化・参加者減少の折、超若手人材参加を快く受け入れてくださり、お褒めや感謝の言葉までいただきました。そして本人も少しでも地域貢献ができたこと、喜んでいただいたことがとても嬉しかったようです。

お子さんの性格や家庭の事情・自治会のご理解等、誰にでもお薦めできることではありませんが、我が家では既に祖父・祖母も他界し、核家族の限られた環境の中で育ってききましたので大変貴重な体験をさせていただきました。

また、学校の授業で資源ゴミや分別など環境問題を学んだようですが、実際に経験するとその難しさ、大変さを感じ、新聞や雑誌は持ちやすく束ねる思い遣りや缶詰も食べ物が残っているとゴキブリが飛び出してくるなど、机上では学んでいないことも実体験できたようです。

高校に進学すると、ボランティア部に入り、校内の環境整備を率先して行い、介護施設や幼児・保育施設へのボランティアにも参加しておりました。おそらく、このときの自治会活動が自信とやる気に繋がっていたと思います。地域の皆様には今も感謝しております。

11月には、教育委員会主催の「市民と教育委員との対話」が今年は南部市民センターで予定されております。

今年もテーマは「家庭教育と地域教育」と伺っています。

様々な話が出てくる可能性のある範囲の広いテーマですが、親として家庭でなければ教えられること、家庭ごとに学ばせたい事もあろうかと思えます。また、地域と交わることでしか学べないこと、地域から学ぶべきことなど、切り口は多様でいくら時間があっても足りないと感じています。

手前味噌の個人的な話でしたが、親の薦めで地域に学ばせていただいた子どもの一例としてお話ししました。大災害の発生が叫ばれている昨今、過去を教訓に行政の支援が準備できる3日から1週間は家庭や地域で何とか対応してほしい。と、政府や各自治体も訴えています。遠くの親戚より近くの他人と言われるとおり、命を守るという観点でも、家庭と地域は連携していく必要があるのではないのでしょうか。

東京の大学で学んでいる息子が、次の組長の時には帰ってきているかなと、思いを馳せながら

今は組長職をしております。

ご清聴ありがとうございました。

(2) 会議録署名委員の指名

小林教育長

会議録の署名委員は、市川職務代理者を指名します。

(3) 前回会議録の承認

小林教育長

前回の議事録について、事前に配布されておりますが、何かご意見ありますでしょうか。
よろしいでしょうか。

末木委員

8月の定例会の発言内容について文意は変わらないのですが、いくつか言い回しの修正をしたいのでご了解をいただきたいです。

小林教育長

言い回し等の修正をするということによろしいでしょうか。

(教育委員会承認)

小林教育長

では、言い回し等の修正をするということで、会議録そのものについては承認するということによろしいでしょうか。

【原案どおり決定】

(教育委員会承認)

2 議事

(1) 議題

小林教育長

報告12号 平成31年度 全国学力・学習状況調査の甲府市における調査結果のポイントについて 資料に基づきまして、寺田学校教育課長より説明をお願いします。

(寺田学校教育課長より資料に沿って説明)

小林教育長

説明が終わりました。これより質疑に入ります。ご意見、ご質問等ありませんか。

末木委員

読む力を育てることで必要な知識や情報を自分で探して物事を判断できるようになると思いますので、引き続き図書館あるは学校図書館司書のみなさんには児童生徒の読む能力の底上げができるよう、より一層の努力をよろしくお願ひしたいと思います。

小林教育長

ほかにはないでしょうか。

市川職務代理者

毎年、この調査の結果で課題点を明らかにして、その対応策を示して、その対応策の授業改善の一番のポイントとして、甲府スタイルで授業を進めていこうという取組をいただいているということはよくわかっていますし、総合教育視察に行かせていただいても、先生方の授業が非常にそれに対応した内容で進められていて、先生方の努力を感じられるところであります。

ただ、先ほどもお話がありましたけど、大体、毎年同じ部分が課題になるんですよね。そして、その課題になる部分の結果が、程度が良いときにはちょっと良くなって、ちょっと厳しいときには結果が良くないという、そういう状況になっているということで、課題について対症療法的にこういうことをした方が良いというのはもちろん必要なんですけど、同じようなことがずっと続いているということになると、何か違う観点から考える必要がないかな、ということを感じています。

では、違う観点からと言っても何をしたら良いかという難しいと思うのですが、一つ、子どもの家庭学習の習慣だとか家庭での生活の様子だとか、生活の様子と学力調査の教科の調査の結果をクロスさせたものは活用されていますよね。例えば、今回の報告書の23ページの資料1にあるように、これはこれで学校に対しても保護者に対しても説得力のある内容になっていると思います。あと一つ考える必要があると思うのが、学校質問紙の調査結果と教科の結果でのクラス集計です。このところをちょっと見る必要があるのではないかなあと。そんなことをちょっと感じました。

また、学校質問紙に対してどういう形で学校の先生方が回答しているのかというのちょっと考える必要があるのかなと思いました。例えば、小中の連携について小学校では7割の教員が小中連携をやっていると答えているのに、中学校の教員では5割になってしまっています。中学校の3年生の教員が中心となって回答しているとなると、小中の連携に3年生が係わるのは薄いんですよね。小中連携というと1, 2年生ということだったりするので。そのあたりを少し加味して学校質問紙にどういう形で答えるのかというの検討する必要があるのかなということを感じながら、学校質問紙にある項目について、それをクラス集計と比べてみると授業のあり方とか学校経営のあり方について少し目がいくのではないかと感じまして、その辺の点から少し啓発をしていく必要があるのかなと感じています。以上です。

小林教育長

関連で言えば、「よく行った」とか「どちらかといえば行った」という言葉は非常に曖昧で、内容的によく行ったとは言えるけども、回数的によく行ったとは言えない、というようなことが起きてしまい曖昧な質問になっているところも、ちょっとどうかなというところもあるので、また

そのあたりは調査をした方がいいかなと思います。

ほかにはないでしょうか。

原委員

従来は知識のA問題、活用のB問題ということで細かく分析がされたと思うのですが、今年から一体的に問われることとなったということで、なんとなくイメージとして大雑把になったと感じるのですが、そこは分析上問題ないのでしょうか。

寺田学校教育課長

今回は今まで設問自体が国語A、国語Bというような形で二つに分かれていたものが、一つになりましたので設問の数自体が少なくなっています。その多くが国語等におきましても全ての問題が活用問題という捉え方です。そして、その活用の中のいくつかだけ活用と知識を両方みる問題というのがあります。例えば、国語で16問あれば16問全てが活用問題でそのうち3問くらいは活用と共に知識・理解をみると。どちらかという活用重視の内容になっているというように考えています。

原委員

分析上は特に問題はないということでしょうか。

寺田学校教育課長

はい。

ある程度、今までのものもありまし、設問の意図自体は大きく変わってないものもありますので分析上はそれほど問題ありません。そして国の方もこれは知識・理解をみる問題ですとか、活用をみる問題ですなど、こちらにもらう資料に明記してありますので、今までどおり弱かった部分を比較しながら分析することができますので、そういう点では大丈夫かなと思います。

原委員

小学校についてなのですが、過去2年少しずつ改善の傾向にあるという状況だったのですが、今年は全国、県ともに下回っているという残念な結果になりました。対象者が違うので一概には言えないと思うのですが、少しずつ上がっていたものが、今回下がっているというのがちょっと気になるのですが、そこはどのように捉えられていますか。

寺田学校教育課長

改善傾向が止まりましたので、それが一つのものなのか、複合的なものなのかわかりませんが、なんらかの原因等があるのだらうと思います。今、各学校でも分析を進めていただいておりますので、我々も各学校からのデータを貰いながら学校ごと必要があれば指導主事や学力向上専門員が行って、共に分析をしてその学校に合った改善策等を練って改善をしていきたいと思っています。

原委員

よろしくお願いいたします。

小林教育長

ほかにはないでしょうか。

よろしいでしょうか。

それでは確認いたしました。

【原案のとおり確認】

(教育委員会確認)

3 その他

小林教育長

その他、何かありますでしょうか。

よろしいでしょうか。

4 閉会

小林教育長

それではこれもちまして、9月定例教育委員会を閉会します。